

## 「第3次豊中アジェンダ 21」 2020 年度評価

### <評価の対象・項目>

- ・「第3次豊中アジェンダ 21」でも引き続き、毎年実績を検証・評価し、行動提案は総会にて公表。

評価項目	関係	頻度	公表の方法
環境目標	環境基本計画と共有	毎年	豊中市環境報告書
行動提案		毎年	とよなか市民環境会議 総会

- ・「第2次豊中アジェンダ 21」は個別の行動提案ごとに評価を実施していたが、「第3次豊中アジェンダ 21」では望ましい環境都市像のテーマごとの総合評価に変更。
- ・評価項目や個別の評価指標は、状況に応じて追加・見直しをしながら運用していく。

項目	評価指標	評価方法
①統計や行政の行動の指標	行動提案と一緒に記載の 評価指標	数値の増減を前年度比で比較
②市民・事業者の行動の指標		
③構成団体チェックシート	行動提案の平均実施率	数値の増減を前年度比で比較
④市民の取組みの質的な評価	文章を作成して表現	状況の改善などを数値に換算
総合評価		①～④の評価をあわせて数値化

※一部のテーマでは適当な取組みがないため、市民・事業者の行動の指標を設定していない

### <評価の記載方法（総合評価のまとめ）>

テーマごとの総合評価の結果を記載

昨年度の結果と比較できます

関連する SDGs の主なテーマ	望ましい環境都市像		総合評価 の結果	(参考) 昨年度 の結果
17 パートナリシップで 目標を達成しよう	市民参加・ 協働	地域の環境活動に市民・事業者が参加し、行政とともに協働で取り組むまち	C	C
12 つくる責任 つかう責任	人にやさしい	多様な世代が地域の中でつながり、安全・安心に住み続けやすいまち	C	C

}

}

2020 年度 総合評価のまとめ	0.4 点	1.3 点
B 評価が 1 つ、C 評価が 11 つで、前年度より B 評価が 3 つ減り、D 評価が 1 つ減りました。（以下略）		

まとめの内容を  
文章にてコメント

テーマごとの総合総合の結果を点数化し、平均した値を 10 点満点に計算  
※プラスの値：進捗とみなす

## <評価の記載方法（各テーマごとの総合評価）>

直近の数値（2020）について、前年度（2019）から増減を表しています

項目	指標名	2018	2019	2020	増減等
①統計や行政の行動の指標	とよなか市民環境会議の構成団体数	138 団体	139 団体	136 団体	△3 団体
②市民・事業者の行動の指標	市民、事業者の環境活動の取り組み事例数	192 件	76 件	未確定	△116 件

2020 年度の数値がない場合は網掛けをし、「未確定」と記載しています。この場合、2019 年度の数値について 2018 年度からの増減を表しています

④市民参加の質的な評価	とよなか市民環境会議では、ホームページを発行し、組織の PR や基盤強化を進めてきました。	市民の状況を文章で説明し、3 段階で評価をします	◎
【市民参加・協働】の総合評価			C
<総合評価の補足説明> ・②とよなか市民環境展は、新型コロナウイルス感染拡大防止により規模を縮小して開催したため、来場者数、出展団体数、寄付・協賛はいずれも大幅に減少しました。（以下略）			

指標の数値に現れない説明などを記載し、総合評価の際に考慮しています

①～④の評価を総合し、5 段階で評価をします

## <数値等の引用や作成>












- ・①豊中市（行政）が主に把握している数値。
- ・②NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21、および豊中市が把握している市民の取り組みの数値。
- ・③とよなか市民環境会議の構成団体（136 団体）を対象に、2021 年 3～4 月に実施し、43 団体が回答。
- ・④NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ 21 が協力し、とよなか市民環境会議で作成。

## <評価の手順>

- ・①②でテーマごとに設定している指標の数値を各年度に入れる。  
③は構成団体から回答された実施率を計算し、各年度に入れる。
- ・直近の数値（2020 年度）について、前年度（2019 年度）と比較し、前年度からの増減を記載する。  
増減の割合に応じて評価する。  
※直近の数値が把握できていない場合は、前年度（2019 年度）と前々年度（2018 年度）の数値を比較。
- ・④は①～③以外の内容について、市民の活動状況を文章で説明して評価する。  
※文章の内容を、良い◎・普通○・課題がある△の 3 段階に換算して表現する。
- ・①～④の評価を総合し、5 段階で評価する。  
※高い評価 A・評価できる B・普通 C・少し課題がある D・とても低い評価 E  
※評価の際には、<総合評価の補足説明>の内容を考慮する。

- 
- ・テーマごとの A～E の総合評価を点数に換算する（A：10 点、B：5 点、C：0 点、D：-5 点、E：-10 点）。
  - ・換算した点数の平均を計算し、10 点満点で評価する。（※小数第 2 位を四捨五入する）
  - ・10 点満点の数値がプラスであれば、望ましい環境都市像の実現に向けて進捗をした、また、数値がマイナスであれば、望ましい環境都市像の実現に向けて後退したとみなす。

<2020年度 総合評価のまとめ>

関連する SDGs の主なテーマ		望ましい環境都市像		総合評価 の結果	(参考) 昨年度 の結果
 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	パートナーシップで 目標を達成しよう	市民参加・ 協働	地域の環境活動に市民・事業者が参加し、行政とともに協働で取り組むまち	C	C
 12 つくる責任 つかう責任	つくる責任 つかう責任	人にやさしい	多様な世代が地域の中でつながり、安全・安心に住み続けやすいまち	C	C
 11 住み続けられる まちづくりを	住み続けられる まちづくりを	まちづくり	地域活動が活発で、地域の特徴に応じたまちづくりができるまち	C	C
 4 質の高い教育を みんなに	質の高い教育を みんなに	環境学習・ 環境教育	みんなが環境についてともに学び、行動に取り組むまち	C	B
 13 気候変動に 具体的な対策を	気候変動に 具体的な対策を	地球環境	地球温暖化を今よりも進めないため、自分にできることから取り組むまち	C	B
 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	エネルギーをみんなに そしてクリーンに	エネルギー	くらしの中で省エネルギーを意識し、みんなで自然エネルギーの導入に取り組めるまち	C	C
 11 住み続けられる まちづくりを	住み続けられる まちづくりを	交通	歩きやすく、自転車で走りやすく、公共交通の便利なまち	B	B
 12 つくる責任 つかう責任	つくる責任 つかう責任	省資源・ 循環型社会	ごみになるものを減らし、資源として循環することができるまち	C	B
 2 飢餓を ゼロに	飢餓を ゼロに	食・農	地産地消で広がる生き生き農業と、「とよっぴー」を紡いで食育が実感できるまち	C	C
 15 陸の豊かさ を守ろう	陸の豊かさ を守ろう	自然との共生	多様な生き物がすみ、みどり豊かで、水辺に親しむことができるまち	C	C
 11 住み続けられる まちづくりを	住み続けられる まちづくりを	歴史・文化	身近なところで、育んできた歴史・文化・景観を感じられるまち	C	C
 6 安全な水とトイレを 世界中に	安全な水とトイレを 世界中に	音・水・大気	騒音や有害な化学物質のない、きれいな水や空気があるまち	C	D
 14 海の豊かさ を守ろう	海の豊かさを 守ろう				
2020年度 総合評価のまとめ				0.4 点	1.3 点
B評価が1つ、C評価が11つで、前年度よりB評価が3つ減り、D評価が1つ減りました。BからC評価となった項目は、新型コロナウイルス感染拡大防止による参加者などの減少による影響が表れています。構成団体の行動提案の実施率は、テーマごとの傾向は同水準であるものの、事業者に関する取組みの実施率が低下し、家庭での取組みの実施率が向上しました。					

<2020年度 各テーマごとの総合評価>

【市民参加・協働】地域の環境活動に市民・事業者が参加し、行政とともに協働で取り組むまち

項目	指標名	2018	2019	2020	増減等
①統計や行政の行動の指標	とよなか市民環境会議の構成団体数	138 団体	139 団体	136 団体	△3 団体
②市民・事業者の行動の指標	市民、事業者の環境活動の取組み事例数	192 件	76 件	未確定	△116 件
	とよなか市民環境展の来場者数、出展団体数	3,812 人 44 団体	3,600 人 43 団体	691 人 32 団体	△2,909 人 △11 団体
	環境交流センター利用者数、会議室等利用回数	18,458 人 486 回	18,354 人 422 回	9,822 人 388 回	△8,532 人 △34 回
	市民環境展への協賛・寄付	210,835 円	241,936 円	46,400 円	△195,536 円
③構成団体チェックシート	行動提案の7項目の平均実施率	45.24%	40.43%	40.86%	0.43%
④市民参加の質的な評価	とよなか市民環境会議では、ホームページ開設や構成団体向けのメールマガジンを発行し、組織のPRや基盤強化を進めることができました。				◎

【市民参加・協働】の総合評価

<総合評価の補足説明>

- ・②とよなか市民環境展は、新型コロナウイルス感染拡大防止により規模を縮小して開催したため、来場者数、出展団体数、寄付・協賛はいずれも大幅に減少しました。しかしながら、市内の主要な行事が軒並み中止する中で、新しい生活様式を踏まえつつ実施できたことは一定評価できることと言えます。
- ・②環境交流センター利用者数は、緊急事態宣言の発令などの影響により大幅に減少しましたが、会議室の利用回数は臨時休館の期間を除いた月平均の回数を見ると横ばいとなっています。
- ・③構成団体の行動提案の実施状況は、2019年度からの傾向としてはほぼ変化がなく、環境展の出展・参加や環境交流センターの活用による「ネットワーク・情報交流」の実施率が50%程度で最も高くなっています。
- ・今後は、とよなか市民環境会議のPRをさらに進めるとともに、減少傾向にある市民、事業者の環境活動の取組み事例について、構成団体に対して強く働きかけてみるものが求められます。また、市民参加・協働の促進の一環として、とよなか市民環境会議においても構成団体が参加・協働できる企画を検討する必要があります。

C

【人にやさしい】多様な世代が地域の中でつながり、安全・安心に住み続けやすいまち

項目	指標名	2018	2019	2020	増減等
①統計や行政の行動の指標	とよなか百万歩ウォーク参加者数	1,148 人	1,253 人	未実施	=
②市民・事業者の行動の指標	NPO アジェンダ（企画屋本舗）行事参加者数	51 人	80 人	30 人	△50 人
	環境マネジメントシステムの導入事業所数	41 件	37 件	29 件	△8 件
③構成団体チェックシート	行動提案の 5 項目の平均実施率	58.57%	59.25%	62.79%	3.54%
④市民参加の質的な評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの市民が家庭や職場における安心・安全について考える機会となりました。一方で、マスクの着用と熱中症の関係など、これまでになかった健康と環境の両立の懸念も発生しました。				○
【人にやさしい】の総合評価					
<p>&lt;総合評価の補足説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①とよなか百万歩ウォークは、大阪府全体で実施する別事業へと移行したことから、2020 年度は未実施となりました。</li> <li>・②NPO アジェンダ（企画屋本舗）の参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大半の行事が中止となり、大幅に減少しました。</li> <li>・③構成団体の行動提案の実施状況は、環境マネジメントシステムやグリーン購入・調達といった「事業者の心がけ」の実施率が低下し、「安全に移動できるまち」の実施率が向上したため、両者の実施率が入れ替わる傾向になりました。</li> <li>・今後は、とよなか百万歩ウォークが終了したこともあり、健康と環境の両立の視点から地域を歩きながら地域資源を見つける企画の実施などが求められます。また、事業者の取組みが環境マネジメントシステムから SDGs の実践などに移行しつつある中で、新たな指標の設定を検討する必要があります。</li> </ul>					C

【まちづくり】地域活動が活発で、地域の特徴に応じたまちづくりができるまち

項目	指標名	2018	2019	2020	増減等
①統計や行政の 行動の指標	地域清掃活動登録企業数	10 団体	11 団体	12 団体	1 団体
	生垣緑化助成件数	2 件	5 件	5 件	0 件
②市民・事業者の 行動の指標	みどりのカーテン参加団体数	64 団体	64 団体	64 団体	0 件
	花いっぱい運動実施場所数	31 か所	31 か所	34 か所	3 か所
③構成団体 チェックシート	行動提案の 5 項目の平均実施率	53.33%	51.32%	48.84%	△2.48%
④市民参加の 質的な評価	緊急事態宣言の発令期間などは、地域での清掃や緑化活動を控えることになり、これまで積み上げられてきた地域活動の停滞について懸念がありますが、今のところは目立った影響は把握されていません。				○
【まちづくり】の総合評価					C
<p>&lt;総合評価の補足説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・②新型コロナウイルス感染拡大防止の流れの中で、みどりのカーテン参加団体数と花いっぱい運動実施場所数は横ばいとなっており、今のところ活動は継続されています。</li> <li>・③構成団体の行動提案の実施状況は、地域貢献活動の実践といった「事業者の心がけ」の実施率が約 10%低下し、この影響を受けて平均実施率が減少傾向にあります。</li> <li>・今後は、生垣緑化助成を活用して南部地域の緑化を推進していくなど、指標となる制度や活動を広げながら、地域での環境活動の機運を高めていくことが求められます。</li> </ul>					

【環境学習・環境教育】みんなが環境についてともに学び、行動に取り組むまち

項目	指標名	2018	2019	2020	比較等
①統計や行政の 行動の指標	出前環境学習の実施回数	13回	22回	3回	△19回
	緑化リーダー養成講座受講者数	49人	41人	18人	△23人
②市民・事業者の 行動の指標	NPO アジェンダ（事業部会）の行事 参加者数	17人	25人	57人	32人
③構成団体 チェックシート	行動提案の4項目の平均実施率	39.88%	48.11%	48.26%	0.15%
④市民参加の 質的な評価	新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受けて、学校や事業所、地域では 環境学習・環境教育についての優先順位が後退したような印象が散見されま した。				△
【環境学習・環境教育】の総合評価					
<p>&lt;総合評価の補足説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①出前環境学習の実施回数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、回数が大幅に減少しました。</li> <li>・①緑化リーダー養成講座は、初級コースがなくなり、中級・上級のみとなったことなどから、参加者が半減しました。</li> <li>・②NPO アジェンダ（事業部会）の行事参加者数は、行事の件数が少ないため変動が大きくなっています。今回は、オンライン参加を導入したことが参加者増の要因の一つとなりました。</li> <li>・③構成団体の行動提案の実施状況は、2018年から2019年度にかけて実施率が大きく向上しましたが、2019年から2020年度にかけては同水準となっています。</li> <li>・今後は、これまで環境活動に関心の少なかった市民へのアプローチを進めることで、環境学習・環境教育の拡充につなげていくことが求められます。そのため、新型コロナウイルス感染症対策や、新たなアプローチの方法として、SNSやオンラインの活用が考えられます。</li> </ul>					
C					

【地球環境】地球温暖化を今よりも進めないため、自分にできることから取り組むまち

項目	指標名	2018	2019	2020	増減等
①統計や行政の行動の指標	1人あたり温室効果ガス排出量	3.16 t-CO2	3.00 t-CO2	未確定	△0.16 t-CO2
②市民・事業者の行動の指標	対象事業（環境交流センター）の参加者数	154人	101人	27人	△74人
③構成団体チェックシート	行動提案の3項目の平均実施率	66.67%	69.18%	70.54%	1.36%
④市民参加の質的な評価	SDGs やエシカル、ゼロカーボンといった言葉が市民や事業者においても、少しずつ広がってきています。				○
【地球環境】の総合評価					C
<p>&lt;総合評価の補足説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①1人あたり温室効果ガス排出量は環境目標でもあります。市内の販売電力量についてすべての把握が難しい状況ですが、家庭部門の排出量が減少傾向にあります。</li> <li>・②対象事業（環境交流センター）の参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、実施の方法や規模を変更したため、大きく減少しました。</li> <li>・③構成団体の行動提案の実施状況は、「地球環境」の実施率が向上して90%を大きく超えており、気候変動に対する意識の高さがうかがえます。</li> <li>・今後は、SDGs やエシカル、ゼロカーボンについて広く進めていくため、具体的な取組みを拡充していくことが求められます。</li> </ul>					



【エネルギー】くらしの中で省エネルギーを意識し、みんなで自然エネルギーの導入に取り組めるまち

項目	指標名	2018	2019	2020	増減等
①統計や行政の 行動の指標	1人あたりのエネルギー消費量	36.2GJ	33.9GJ	未確定	△2.3GJ
	太陽光発電補助による導入量	351kw	296kw	376kw	80kw
②市民・事業者の 行動の指標	市民向け地球温暖化対策省エネ推進 事業によるCO2削減量	8,931kg	3,635kg	4,638kg	1,003kg
	エコポイントチケット「とよか」配布 枚数	6,112枚	7,465枚	2,540枚	△4,925枚
③構成団体 チェックシート	行動提案の6項目の平均実施率	76.98%	80.19%	76.74%	△3.45%
④市民参加の 質的な評価	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの家庭で在宅の時間が増えており、家庭でのエネルギー消費量の増加が見込まれます。				△
【エネルギー】の総合評価					C
<p>&lt;総合評価の補足説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・②エコポイントチケット「とよか」配布枚数は、市民向け地球温暖化対策省エネ推進事業の取組みの見直しや、新型コロナウイルス感染拡大防止による実施方法の変更などにより、大幅に減少しました。</li> <li>・③構成団体の行動提案の実施状況は、2019年度から低下したものの、2018年度と同程度であり、すべてのテーマの中で最も高い実施率となっています。</li> <li>・今後は、新型コロナウイルス感染症を契機としたライフスタイルの変化を踏まえて、新たな生活様式や在宅勤務の増加に対する省エネルギーの取組みや、自然エネルギーの活用も含めたZEH（ゼロ・エネルギー・ハウス）の拡充などが求められます。</li> </ul>					

【交通】歩きやすく、自転車で走りやすく、公共交通の便利なまち

項目	指標名	2018	2019	2020	増減等
①統計や行政の行動の指標	自動車保有台数（総数）	154,169台	153,027台	152,370台	△657台
	電気自動車充電スタンド数	27か所	29か所	29か所	0か所
	阪急電車の利用者数	180,631人	182,362人	未確定	1,731人
	カーシェアリングの台数	216台	247台	243台	△4台
	自転車通行空間整備状況	4.45km	5.69km	8.86km	3.17km
②市民・事業者の行動の指標	エコドライブキャンペーンの参加者数	68人	81人	113人	32人
③構成団体チェックシート	行動提案の14項目の平均実施率	46.60%	46.90%	52.66%	5.76%
④市民参加の質的な評価	新型コロナウイルス感染拡大防止によるライフスタイルの変化により、通販やデリバリーの利用が増加している一方で、自家用自動車・バイク等の利用頻度が低くなった市民が多くなっており、交通環境の負荷としては、一長一短の傾向が見られます。				○
【交通】の総合評価					B
<p>&lt;総合評価の補足説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①電気自動車充電スタンド数やカーシェアリングの台数は、長らく増加傾向でしたが、2020年度にかけて横ばい状態となっています。</li> <li>③構成団体の行動提案の実施状況は、新型コロナウイルス感染拡大防止による移動の減少があるものの、「公共交通機関の利用促進」が約15%向上し、平均実施率を押し上げています。</li> <li>今後は、新型コロナウイルス感染拡大防止によるライフスタイルの変化により、公共交通機関やマイカーの利用状況、宅配サービスの増加などを含めた【交通】のテーマ全般についての動向を引き続き注視していくことが求められます。</li> </ul>					

【省資源・循環型社会】ごみになるものを減らし、資源として循環することができるまち

項目	指標名	2018	2019	2020	増減等
①統計や行政の 行動の指標	1人1日あたりのごみ量	731.9g	713.5g	700.3g	△13.2g
	環境関連施設の見学者数	16,807人	16,657人	7,478人	△9,179人
②市民・事業者の 行動の指標	マイバッグ持参率	72.9%	80.9%	84.8%	3.9%
	豊中エコショップ認定店舗数	128店	142店	158店	16店
	リサイクル工作参加者数	81人	47人	33人	△14人
③構成団体 チェックシート	行動提案の8項目の平均実施率	62.50%	64.86%	65.99%	1.13%
④市民参加の 質的な評価	新型コロナウイルス感染拡大防止によるライフスタイルの変化により、テイクアウトや出前等の際に発生するプラスチック製容器の増加や、自宅を片付ける人の増加に伴う粗大ごみの増加といった課題が出てきています。				△
【省資源・循環型社会】の総合評価					
<p>&lt;総合評価の補足説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①環境関連施設の見学者数（3つの施設の合計人数）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、見学者数が半分以下にまで減少しています。</li> <li>・②リサイクル工作参加者数は、主に環境交流センターでの参加者数ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、募集定員を絞ったことから、参加者が減少したものの、どの回も定員前後までの参加希望がありました。</li> <li>・③構成団体の行動提案の実施状況は、「3Rの推進」の実施率が向上しましたが、「事業者の心がけ」の実施率は低下しました。</li> <li>・今後は、新型コロナウイルス感染拡大防止によるライフスタイルの変化で増加しているプラスチックごみの削減や、可燃ごみの中で多くの割合を占める食品ロスの削減につながる取組みを実施していくことが求められます。</li> </ul>					C

【食・農】地産地消で広がる生き生き農業と、「とよっぴー」を紡いで食育が実感できるまち

項目	指標名	2018	2019	2020	増減等
①統計や行政の 行動の指標	「とよっぴー」製造量	106.4t	88.7t	76.2t	△12.5t
	地産地消野菜等の学校等給食提供回数	127回	132回	130回	△2回
	市民農園申込者数	1,920人	1,549人	1,398人	△151人
②市民・事業者の 行動の指標	「とよっぴー」の購入者数	1,320人	1,034人	800人	△234人
	地産地消野菜の購入者数	1,807人	1,924人	1,189人	△735人
	食育学習の回数、参加者数	136回 1,922人	124回 5,062人	40回 982人	△84回 △4,080人
③構成団体 チェックシート	行動提案の6項目の平均実施率	51.19%	51.89%	62.02%	10.13%
④市民参加の 質的な評価	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、指標②で把握している以外の地元産野菜の販売も多くが中止となり、市民が地産地消に参加できる機会が大幅に減少しました。				△
【食・農】の総合評価					
<p>&lt;総合評価の補足説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①「とよっぴー」の製造量は、臨時休校による食品残渣の減少のため、減少しました。</li> <li>②「とよっぴー」の購入者数、地産地消野菜の購入者数は、いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止によるイベントの中止の影響により、実績が大幅に減少しました。また、食育学習では小学校の臨時休校に伴う授業時間の確保や、外部からの来校者を控えるといった事情も影響しました。</li> <li>③構成団体の行動提案の実施状況は、「資源循環」「食育」がそれぞれ10%以上向上しました。</li> <li>④今後は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、「とよっぴー」や地産地消野菜の購入機会や、食育学習の機会の減少が当面続くと見込まれるため、新しい生活様式を踏まえながら、市民が食や農にふれる機会を確保していくことが求められます。</li> </ul>					C

【自然との共生】多様な生き物がすみ、みどり豊かで、水辺に親しむことができるまち

項目	指標名	2018	2019	2020	増減等	
①統計や行政の 行動の指標	緑被率	未実施	未実施	未実施	=	
	特定外来生物措置件数	26 件	16 件	13 件	△3 件	
	タヌキ・キツネの相談件数	22 件	11 件	5 件	△6 件	
	ため池の箇所数	37 か所	36 か所	36 か所	0 か所	
②市民・事業者の 行動の指標	NPO アジェンダ（自然部会）行事参加者数	707 人	717 人	534 人	△183 人	
	自主管理登録団体数	171 団体	174 団体	172 団体	△2 団体	
③構成団体 チェックシート	行動提案の 13 項目の平均実施率	37.91%	48.77%	48.12%	△0.65%	
④市民参加の 質的な評価	<p>市内の開発地域において、2019 年度に市民からキツネの生息の情報提供があった件は、開発業者の協力により一部の区画を現存することができました。しかし、キツネの生息が継続するかは未知数です。</p> <p>また、協働の取組みに関する意見交換会では、豊中における生物多様性をテーマに関係団体などで意見交換を行うことができました。</p>				◎	
【自然との共生】の総合評価						
<p>&lt;総合評価の補足説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①特定外来生物措置件数やタヌキ・キツネの相談件数の評価は「件数が少ない＝出現数が少ない」ということを基本として評価を行っています。しかし、同じタヌキ・キツネに対して複数の相談が入る場合もあり、「件数が多い≠タヌキ・キツネの数が多い」ということも留意が必要です。</li> <li>②NPO アジェンダ（自然部会）行事参加者数は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事の一部が中止となっています。</li> <li>③構成団体の行動提案の実施状況は、2019 年度から傾向に変化がありませんでした。このテーマの中で最も高い実施率が「自然を守り育てる」で、50%程度となっています。</li> <li>④今後は、協働の取組みに関する意見交換会の内容でテーマとした「生物多様性」について、市民団体・事業者・行政が連携・協働し、豊中における生態系サービスの保全と活用をさらに進めていくことが求められます。</li> </ul>						C

【歴史・文化】身近なところで、育んできた歴史・文化・景観を感じられるまち

項目	指標名	2018	2019	2020	増減等
①統計や行政の 行動の指標	景観に関する協定件数	2件	2件	2件	0件
	指定文化財数	86件	87件	87件	0件
	保護樹、保護樹林数	138本 10件	139本 10件	137本 10件	△2本 0件
②市民・事業者の 行動の指標					
③構成団体 チェックシート	行動提案の3項目の平均実施率	56.35%	59.75%	60.47%	0.72%
④市民参加の 質的な評価	長興寺地区などの歴史的環境を豊中の里地として見て歩く行事の開催を通して、2020年度も市民が歴史や文化に触れる機会が作られました。				○
【歴史・文化】の総合評価					C
<総合評価の補足説明> ・①行政の指標は、ほぼ横ばいとなっています。 ・③構成団体の行動提案の実施状況は、「歴史」「景観」の実施率がまったく同じになっています。 ・今後は、歴史・文化・景観を保全し、身近に感じるための継続した取組みが求められます。					

※現時点では、市民・事業者の行動の指標が設定されていません。

【音・水・大気】騒音や有害な化学物質のない、きれいな水や空気があるまち

項目	指標名	2018	2019	2020	増減等
①統計や行政の 行動の指標	環境基準達成状況（大気・水質・道路 騒音・航空機騒音・ダイオキシン）	88.0%	88.0%	未確定	0.0%
		97.4%	97.2%		△0.2%
		94.1%	95.0%		0.9%
		0.0%	0.0%		0.0%
		100.0%	100.0%		0.0%
	公害関係苦情件数（大気汚染・水質汚 濁・騒音）	86 件	100 件	104 件	4 件
	雨水貯留タンク助成件数	14 件	6 件	13 件	7 件
	1 人 1 日平均給水量	241 ℓ	239 ℓ	249 ℓ	10 ℓ
②市民・事業者の 行動の指標					
③構成団体 チェックシート	行動提案の 6 項目の平均実施率	66.67%	70.13%	70.16%	0.03%
④市民参加の 質的な評価	音・水・大気については、イベントや事業としての実施よりも、各家庭での 実践により進められている部分が大きくなっています。引き続き、行動提案 を実現するための活動などが課題です。				○
【音・水・大気】の総合評価					C
<p>&lt;総合評価の補足説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①公害関係苦情件数の大半は騒音であり、水質汚濁は過去 3 年間で 1 件もありませんでした。</li> <li>・①1 人 1 日平均給水量は、新型コロナウイルス感染拡大防止によるライフスタイルの変化によ り、家庭で過ごす時間が増えたことから、業務用の水量は減少したものの、家庭用の生活用水 が増加しています。</li> <li>・③構成団体の行動提案の実施状況は、2019 年度から傾向に変化がありませんでした。「音」「水」 「大気」のいずれも高い実施率となっています。</li> <li>・今後は、市民や事業者が実践できる身近な行動の指標が求められます。</li> </ul>					

※現時点では、市民・事業者の行動の指標が設定されていません。